

# 令和7年度 中学生の「税についての作文」 優秀作品紹介



11月18日㈫、和水町役場本庁で、令和7年度中学生の「税についての作文」表彰式が開催されました。

今年度は熊本県全体で、4,000編ほどの応募があり、荒尾玉名地域の中学生からは、1,045編の応募がありました。

和水町からは3人の生徒が表彰されました。

- ・和水町教育長賞……………坂井 優花さん（菊水中学校3年）
- ・和水町長賞……………林田明香里さん（三加和中学校2年）
- ・公益社団法人玉名法人会長賞……………水嶋 結梨さん（三加和中学校3年）
- ・全国納税貯蓄組合連合会 作文募集推薦校感謝状……………三加和中学校



菊水中学校 三年  
さかい ゆか 坂井 優花

## 『税について考える』

私は、小学四年生の時、体調を崩して救急車で病院まで搬送されました。自分もよく状況が分からっていない中、救急隊の人々がスマートに処置をしてくれることは知っています。病院で治療を受け、退院するとき、私の両親はお金を払いませんでした。病院の治療代は町が負担してくれることは知っています。病院で母に言われたことが分かれたことを覚えています。病院で治療を受けたんだよ」と言われました。小学生だった私には、病院のお金は町が出るだけだと心がたたかくなりました。そして人吉・球磨地方の豪雨災害や熊本地震でも税金が役に立つていていました。そのとき、やっと病院で母に言われたことが分かりました。本当に日本のみんなが、私が助けてくれたりして、誰かに感謝しなくてはならないことには少し感じました。

数か月後、体調も良くなり元気に学校生活を送っていました。七月四日に人吉・球磨地方で豪雨災害が起きました。球磨川は茶色くなり、家が流れ、多くの人が犠牲になりました。前の美しい自然はいつきに消えていました。テレビでは、ずっとそのことを報道していました。それを見た私は、元にもどる

のに時間がかかりそうだなと思いました。でも次の日のニュースでは、自衛隊の方々が被災地に入られ救助活動や土砂の撤去、避難者の生活支援をされました。それと同時に、自衛隊の方々が熊本地震のときも今回のときもいろんな人を救っていて格好いいなと思いました。

小学校六年生のときに租税教室がありました。そのときに、警察や先生方、自衛隊の方々のお給料は税金からきていることを知りました。そのとき、自分が負担していることが分かるようになりました。

たのが、人を救うためにあるものとい

うことが分かりました。これが、物を買うときは、税がかかります。

方の豪雨災害や熊本地震でも税金が役に立つていています。そのとき、やっと病院で母に言われたことが分かりました。本当に日本のみんなが、私が助けてくれたりして、誰かに感謝しなくてはならない

ことには少し感じました。

税金が高まり、政治家の方も「税をなくす」という政策をだしたりしています。

しかし、それでも必要な人のところに必要な支援が届かないということがあります。

今、税について日本全体で考える必要があります。

声が高まり、政治家の方も「税をなくす」という政策をだしたりしています。

しかし、それでも必要な人のところに必要な支援が届かないということがあります。

今、税について日本全体で考える必要があると思います。



菊水中学校 三年  
さかい ゆか 坂井 優花

## 『税について考える』

私はまだ選挙権はありませんが、金がどう使われるかは、国や町の議員道は議員たちが決めているということを知りました。私たちが納めた税金がどう使われるかは、税金の使い道は議員たちが決めているということを実感しました。

さらに、租税教室では、税金の使い道は議員たちが決めているということを実感しました。

私はまだ選挙権はありませんが、金がどう使われるかは、国や町の議員道は議員たちが決めているということを実感しました。

私はまだ選挙権はありませんが、金がどう使われるかは、税金の使い道は議員たちが決めているということを実感しました。

私は学校で行われた租税教室で、税金がどのように使われているのかを学びました。そこで一番印象に残ったのは「給食費が無償になっているのは税金のおかげ」と知ったことです。

私の町では、給食費が無償になつてあります。毎日、当たり前のように食べている給食の費用を町が税金を使い負担されていることに驚きました。

給食は、私にとって学校生活の楽しみのひとつです。栄養バランスが考えられた献立で、家ではなかなか食べることができないような料理もあり、友達と一緒に食べることで会話を弾みます。今までには「学校だから出でてくるのが当たり前」と思っていましたが、それが税金で支えられていると知つて、給食のありがたさを改めて感じました。

また、税金は給食だけではなく、道路や病院、消防、図書館など、私たちの暮らしのいろいろなところに使われています。学校の中だけでもたくさん



菊水中学校 三年  
さかい ゆか 坂井 優花

## 『給食の裏側にある税金の力』

私は学校で行われた租税教室で、税金がどのように使われているのかを学びました。そこで一番印象に残ったのは「給食費が無償になっているのは税金のおかげ」と知ったことです。

私の町では、給食費が無償になつてあります。毎日、当たり前のように食べている給食の費用を町が税金を使い負担されていることに驚きました。

給食は、私にとって学校生活の楽しみのひとつです。栄養バランスが考えられた献立で、家ではなかなか食べる

ことができないような料理もあり、友達と一緒に食べることで会話を弾みます。今までには「学校だから出でてくるのが当たり前」と思っていましたが、それが税金で支えられていると知つて、給食のありがたさを改めて感じました。

また、税金は給食だけではなく、道

路や病院、消防、図書館など、私たち

の暮らしのいろいろなところに使われています。学校の中だけでもたくさん

のものが税金で整備されていると知り、税金が「みんなの暮らしを支えるお金」なのだと実感しました。



菊水中学校 三年  
さかい ゆか 坂井 優花

## 『給食の裏側にある税金の力』

私はまだ選挙権はありませんが、金がどう使われるかは、税金の使い道は議員たちが決めているということを実感しました。



菊水中学校 三年  
さかい ゆか 坂井 優花

## 『給食の裏側にある税金の力』

私はまだ選挙権はありませんが、金がどう使われるかは、税金の使い道は議員たちが決めているということを実感しました。



菊水中学校 三年  
さかい ゆか 坂井 優花

## 『給食の裏側にある税金の力』

私はまだ選挙権はありませんが、金がどう使われるかは、税金の使い道は議員たちが決めているということを実感しました。

私はまだ選挙権はありませんが、金がどう使われるかは、税金の使い道は議員たちが決めているということを実感しました。

私はまだ選挙権はありませんが、金がどう使われるかは、税金の使い道は議員たちが決めているということを実感しました。